

フェリング・ファーマシューティカルズ社 ヨーロッパで進行性前立腺癌治療薬「FIRMAGON®」 (一般名:デガレリクス(degarelix)) の販売を開始

本資料は、フェリング社が英語で発表しましたプレスリリースを日本語に(抜粋)翻訳し、再編集したものです。この資料の内容および解釈につきましては原本である英文が優先します。詳細につきましては、フェリング社のウェブサイト(www.ferring.com/en/newsroom/pressreleases)に掲載されておりますオリジナルのプレスリリースをご参照ください。

2009年3月18日 スウェーデン・ストックホルム発

フェリング・ファーマシューティカルズ社は、このたび前立腺癌に対する新たなホルモン治療剤である「FIRMAGON®」(一般名:デガレリクス(degarelix))のヨーロッパ地域での販売を開始し、本日ストックホルムで開催された第24回ヨーロッパ泌尿器学会(EAU)年会において詳細を発表いたしました。「FIRMAGON®」はゴナドトロピン放出ホルモン(GnRH)受容体拮抗作用を有し、進行性のホルモン依存性前立腺癌の治療を適応症としています。

「FIRMAGON®」は一般に用いられているホルモン治療とは異なる新たな作用を持っており、皮下注射後、直ちに脳の視床下部で産生される GnRH 受容体を阻害することから、迅速に前立腺特異抗原(PSA)レベルを低下させる効果があります。GnRH 受容体を阻害することにより、黄体形成ホルモンの分泌が抑制され、精巣におけるテストステロン値が減少します。前立腺癌はテストステロンに依存して増殖するため、テストステロン値を低下させることで癌細胞の成長を抑制することが可能となります。進行性前立腺癌に対して一般的に使用されている治療薬であるリュープロレリンとの比較臨床試験において、「FIRMAGON®」はテストステロン値および PSA 値をリュープロレリンよりも速い時間で抑制したことが確認されています。

英国シェフィールド州ロイヤル・ハラムシャー病院泌尿器科上級外科医師のジョン・アンダーソン氏は次のように述べています。『「FIRMAGON®」が新しい治療のオプションと多くの患者さんへの希望をもたらすことができるのは、進行性のホルモン依存性前立腺癌の治療分野で新たなかつ重要なステップといえるでしょう。テストステロン値を短時間に下げそれを持続させることが我々の治療の目標ですが、「FIRMAGON®」を投与することで外科手術の結果と同等の即効性が認められるからです。』

「FIRMAGON®」はフェリング・ファーマシューティカルズ社がヨーロッパにおける販売を行います。今回「FIRMAGON®」の販売開始は、泌尿器領域において最新のそしてより優れた治療法の確立を旨とすべく長期にわたって尽力を続けていくことをコミットしているフェリング・ファーマシューティカルズ社にとって、更なる重要なマイルストーンを達成させたこととなります。